

マンツーマン推進の運用における変更点

【変更内容】

U12 および U15 カテゴリーの両方において適用する。

- ① 「マンツーマン基準規則違反で「赤色（警告）」の旗が上げられた時は、コミッショナーが、違反対象となった攻防のボールのコントロールが変わった時およびボールがデッドになった時にゲームクロックを止めて、違反行為に対しての処置を行う。審判およびオフィシャルを行う児童・生徒が判断するものではなく、コミッショナーが判断して行う処置である。」

＜補足・運用の変更点＞

- ・ コミッショナーは違反対象となった攻防のボールのコントロールが変わった時およびボールがデッドになった時に、速やかにホイッスル・ブザー等で審判に知らせるゲームを止める。オフィシャルはホイッスル・ブザー等と同時にゲームクロックを止める。ゲームを止めた後は、赤旗に関する処置を行う。
 - ・ これまで赤旗が掲げられた場合でもゲームが止まらず、赤旗が連続するケースやゲームが終了してしまうケースが見られた。この対応に対する処置である。
 - ・ ボールのチームコントロールが変わる時（ボールの保持が変わる時）、ボールがデッドになる時、および具体的対応を「マンツーマンコミッショナーの設置および競技会（試合）における運用について」に記載している。
 - ・ ショットクロックとの連動が必要なため、TO 席側にコミッショナーを配置すること。
- ② 「スローイン時（サイド・エンド両方）においてのみ、スローインをするプレイヤーにマッチアップするディフェンス側プレイヤーが 1.5 メートル以内のマッチアップの距離制限を超えて制限区域内のオフボールプレイヤーをトラップすることは許される。」

＜補足＞

- ・ この状況において、体の向き（スローインに正対・背中を向けるなど）を規定することはない。
- ・ マッチアップエリア内の制限区域へのオフボールマンに対して、スローインにマッチアップするプレイヤーがオフボールマンにトラップしてよいことについて記載した。

【導入時期】

可能な限り、平成 30 年度に導入をお願い申し上げます。

以上